



Mitake  
Sayaka  
Salon

美竹清花さろん こけら落とし【第十五夜】

# 鈴木舞 & 實川風

サロン  
コンサート

-Violin &  
Piano-

2017年11月24日(金)

開場18:30 / 開演19:00 入場料4,000円 / 学生2,000円(全席自由席)



©Yukiko Shibuya

**鈴木舞** (まい・まい)

2007年チャイコフスキー国際コンクール最年少セミファイナリスト、2013年ヴァーツラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール(クローナア)第1位、オルフェウス室内楽コンクール(スイス)第1位、2016年スピヅァコフ国際ヴァイオリンコンクール第2位。  
2017年7月にはフランス・コルマール音楽祭にリサイタル・デビューし、9月にデビューCD「Mai favorite」をリリース。  
使用楽器は1683年製のニコロ・アマティ、ミュンヘン在住。  
<http://maiviolin.com/> (2017年8月)



繊細、優美、透明、純粹無垢、  
秘められた情熱——今もっとも  
注目を集めている“風に舞う共演”



©Christian Jungwirth

**實川風** (じつがわ・かほろ)  
2015年、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー国際コンクール(パリ)フランスにて、1位なしの第3位、最優秀リサイタル賞、最優秀新進演奏賞を受賞。東京藝術大学附属高校・東京藝術大学を首席で卒業。同大学大学院(修士課程)修了。昨年秋よりクワインズ大学音楽学部ポストグラデュエイト課程に在籍し、マックス・シムス氏に師事。

*Program* \*曲目・演奏順は変更になる場合がございます。

- モーツァルト：ヴァイオリンソナタ
- シューベルト：アヴェマリア
- シューベルト：ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ第一番
- ガーシュイン/ハイフェッツ：“ボーギーとベス”より、  
「サマータイム」 「ブルースのテンポで」
- シマノフスキ：3つのバガニーニのカプリース
- 他



●ご予約 / お問い合わせ  
株式会社 I L A (美竹清花さろん)  
070-2168-8484  
03-6452-6711

Webサイトからでもお申し込みいただけます。 <http://goo.gl/MZ4BKp>

美竹清花さろん こけら落とし【第十五夜】

# 鈴木 舞 & 實川 風 サロンコンサート

-Violin & Piano-

2017年11月24日(金)

開場 18:30 / 開演 19:00

入場料4,000円 / 学生2,000円(全席自由席)

繊細、優美、透明、純粹無垢、秘められた情熱—今もっとも注目を集めている“風に舞う共演”

絵に描いたような素敵なデュオコンサートが、美竹清花さろんで実現することになりました。ヴァイオリン=鈴木舞(すずき-まい)さん、ピアノ=實川風(じつかわ-かほる)氏の豪華なコンサートです。

鈴木舞さんの演奏を聴いたのは今年の夏、当サロンにいらっしゃった時です。今まで美竹清花さろんではピアノの演奏会が多かったので、ヴァイオリンの響きの美しさをサロンで堪能することがありませんでした。

しかし、鈴木舞さんが突如サロンにリハーサルにいらっしゃり、その素晴らしいヴァイオリン演奏を披露してください、はっとしました。こんなにもサロンとヴァイオリンの響きが調和するものなのかと…サロンでヴァイオリンの音色の素晴らしさを体験したのは鈴木舞さんの演奏がはじめてでした。それもそのはず、サロンにはヴァイオリンに使用されている同じ木素材のメイプル(楓)の格子戸がふんだんに使われているのです。まるでヴァイオリンの楽器のなかで聴いているかのような錯覚に陥るほどに、ヴァイオリンの響きを最大限に引き出す空間といえるでしょう。

サロンの響きだけでなく、鈴木さんの演奏には繊細さ、色彩感、そして透明感といった上品な表現力が豊かに備わっています。それらは決して表面的な美しさだけではなく、芯のある内面的な美しさ、とでも表現するのでしょうか。

鈴木さんは2007年チャイコフスキー国際コンクール最年少セミファイナリスト、2013年ヴァーツラフ・フル国際ヴァイオリンコンクール第1位、オーケストラ賞、オルフェウス室内楽コンクール(スイス)第1位、2016年スピヴァコフ国際ヴァイオリンコンクール第2位…等々、目眩むような輝かしい実績を短期間のうちに挙げています。ミュンヘン在住で活動のステージがヨーロッパであるため、国内での演奏会は非常に貴重なものとなっており、今後の日本での活躍にも大いに期待できるといえます。

音楽評論家の山野雄大氏は、鈴木舞さんを評して、「鈴木舞の音楽には、姿勢正しい誠実さと、細やかな心づかりが確かに満たされている。そしてその底にふつふつと燃える情感が、ぐっと迫真を語り、歌う。」と言います。彼女自身は、「生きるためにヴァイオリンを弾いていた。…以前は自分の苦悩を人

に話すことが出来なかったタイプなので、フランス音楽のく葛藤があっても内に秘めて人にみせずに語る」というところに共感したのではないかと、フランス音楽を6年ほど究めてきたという一なるほど、彼女の繊細ながら芯のある内面的な美しさは、フランス音楽が関係しているのかと納得しました。

一方、ピアノの實川さんは、2015年10月、ノリで開催されたロン・ティボー・クレスパン国際コンクールで1位なしの第3位、併せて最優秀リサイタル賞、および新曲賞を受賞。2016年12月にはイタリア開催第7回カラーリオ国際ピアノコンクール優勝、等々…やはりこれまでに大変な実績を積み上げられてきており、テレビ・ラジオ等の出演も数多くあります。2016年秋よりオーストリア・グラーツ国立芸術大学ポストグラデュエート課程に在籍。そんな實川さんの演奏は「自然体で端正な美しさ」が一目置かれています。音楽に誠実に向き合う姿勢が彼の演奏やCD録音から、くみ取ることができます。

このお二人、実は高校1年生の頃から10年以上、毎年のように共演しているそうで、気心が知れており、息もぴったり、キングレコードから出ているデヴェューアルバム「マイ・フェイリット 鈴木舞」でも共演しています。鈴木舞さんの使用楽器は1683年製「ニコロ・アマティ」です。この銘器が美竹清花さろんにどのように響くか、大変な楽しみです。

今回のプログラムはシューベルトの「ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ」が予定されています。シューベルトといえば生涯に600曲もの歌曲を作曲したことから「歌曲の王」とも呼ばれています。そんなシューベルトの数少ないヴァイオリンとピアノのための作品、シューベルトらしい歌曲のような、素材で叙情的な調べに個性が現れます。

シューベルトの真っ白なパールにつつまれたような世界と、鈴木さんの迫真を語り歌い上げるような音楽性、實川さんの限りなく美しく端正な響きでの、音楽での語らい、対話が非常に楽しみです。(渡辺公夫 / 見澤沙弥香)



世界に通用する才能溢れる  
若手トップアーティストが  
続々と集結!

大ホールのプラチナ席をしのご  
生演奏の醍醐味、  
一期一会で味わう圧倒的な臨場感。

日本のトップクラスの若手演奏家が、こだわり抜いた企画をお届けします。

美竹清花さろんでは、演奏レベルの高さにこだわった

“本物の音楽”を追求します。

歓談や飲食を通じた、

演奏者の人柄にふれる楽しさにも注目です。

誕生。  
クラシック音楽サロン、  
宮益坂、  
渋谷駅 徒歩2分



●お問い合わせ

株式会社ILA (美竹清花さろん)

東京都渋谷区渋谷 1-12-8 (〒150-0002)

☎ 070-2168-8484 / 03-6452-6711

Fax 03 (3409) 0188

